

---

# 大学教育学会ニュースレター

No.80 2009.2.2

---

大学教育学会 (*Liberal and General Education Society of Japan*)

事務局:北海道医療大学内 〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757

TEL0133-23-1487(直通)/FAX:0133-23-1487

ゆうちょ銀行振替口座:00120-4-178891 大学教育学会

e-mail: [ungakkai@hoku-iryo-u.ac.jp](mailto:ungakkai@hoku-iryo-u.ac.jp)

URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

---

## 大学教育学会 第31回(2009年)大会

総合テーマ

### 教育者としての大学教員

大学教育学会 第31回大会  
企画委員会委員長 絹川正吉

#### (趣旨)

大学生が変わり、大学を取り巻く社会が変容する中で、大学には学生の学習成果という形で結実する教育目標を持ち、その実現を意識的に支援する教育機関としての機能が、これまで以上に期待されるようになってきている。こうした認識は、2008年度に開催された第30回学会大会、あるいは課題研究集会のいずれの統一テーマを見ても明らかのように、大学教育学会が恒常的に研究すべき諸課題の基本的な前提になってきているものと見ることができる。

第31回学会大会が統一テーマとして特に掲げるのは、「教育者としての大学教員」である。大学「教員」であるからには、むしろ教育者としての専門的素養が求められるわけだが、周知の通り、大学教員の教育に関する見識は、研究者としての修練を積む過程で経験的かつ付随的に培われるものと想定されている。しかし今日では、FDの義務化を例示するまでもなく、それぞれの教員の責任において行われる教育に限界があるということは広く認められている。こうした現状に鑑みれば、初・中等教育の教職課程において、教える教科に関する「教科専門科目」とは別の、教育者一般に求められる知識・能力を養成することを目的とした「教職専門科目」があるように、大学教員に関しても共通的な素養を考えることが可能であり、またその修得を制度として保証していく必要があるのではないか、という具体的な問題提起をすることもできる。

そこで今大会では、まず基調講演として、大学教育だけでなく初・中等教育についても造詣の深い寺崎昌男氏に、大学教員と初・中等教育の教員に求められるものの異同を大局的に論じていただく。これに続き、シンポジウムⅠにおいては、「大学教員のパフォーマンス評価」をテーマとして、教育者としての素養向上を動機づける教員評価の在り方を検討する。そして「大学教員の養成・研修～Discipline との相剋・相生において」と題したシンポジウムⅡでは、大学教員に関して所謂「教職専門」は如何に定義することができ、またどのような場面で養成することができるのかについて、国内外の事例を参考に考えてみたい。

**大学教育学会 第31回(2009年)大会**  
**総合テーマ**  
**教育者としての大学教員**  
**開催要領(概要)**

**1. 開催日時及び会場**

期日 2009年6月6日(土)～7日(日)  
 会場 首都大学東京南大沢キャンパス 1号館・講堂(東京都八王子市)  
 (京王相模原線南大沢駅下車:徒歩5分)

**2. 大会日程**

第1日:6月6日(土)

9:00	9:30	12:00	13:00	14:00	14:10	15:30	18:00	19:30
受付	ラウンドテーブル	昼食	総会	学長 挨拶	基調講演	シンポジウム I	懇親会	

第2日:6月7日(日)

8:30	9:00	12:00	13:30	16:00	16:30
受付	自由研究発表	昼食	シンポジウム II	閉会	

**第1日 6月6日(土)**

- 9:00～ 受付
- 9:30～12:00 ラウンドテーブル (150分)
- 12:00～12:50 昼食(シンポジウム I 打ち合わせ)
- 13:00～13:50 総会
- 14:00～14:10 学長挨拶
- 14:10～15:20 基調講演 寺崎昌男 (70分)
- 15:30～18:00 シンポジウム I 「大学教員のパフォーマンス評価」 (150分)
- 18:10～19:30 懇親会

**第2日 6月7日(日)**

- 8:30～ 受付
- 9:00～12:00 自由研究発表 (180分)
- 12:00～13:10 昼食(シンポジウム II 打ち合わせ、常任理事選出特別理事会)
- 13:30～16:00 シンポジウム II 「大学教員の養成・研修～Discipline との相剋・相生  
 において」 (150分)
- 16:00～16:30 会長閉会挨拶・次期会場校挨拶

**▼関連行事**

6月5日(金) 16:00～18:00 理事会

### 3. 「ラウンドテーブル」企画要領

ラウンドテーブルは会員間の研究活動を活性化し、さらには学会全体で共有できる研究課題を発掘することを目的として2002年の宮城大学での大会からプログラムに組み込まれてきました。本学会は、多様な研究領域の方々が集まりながら「大学教育」ということに焦点を当ててその充実を図ることを大きな目標としています。ラウンドテーブルにおいても個別研究領域・研究機関の課題に終始することなく、多様な人々の研究情報の交換ができる場となることが望まれます。以上の趣旨をご理解頂いたうえで、ラウンドテーブルの企画に当たっては、企画者だけでなく発表者（発題者・話題提供者等）についても原則として会員とし、複数の教育研究機関にわたるようご配慮下さい。ラウンドテーブルの申し込みについては、「自由研究およびラウンドテーブルの申し込みについて」をご参照下さい。ラウンドテーブル全体の調整・とりまとめは大会企画委員会が行います。また、ラウンドテーブルの内容は企画者によって大学教育学会誌にご報告頂きます。

### 4. 総会

議長 寺崎昌男(会長)

### 5. 基調講演

演題：「大学教員と初・中等教員～求められる能力の異同（仮題）」

講師：寺崎昌男（立教大学）

### 6. シンポジウム I：「大学教員のパフォーマンス評価」

趣旨：本シンポジウムでは、大学を取り巻く環境が目まぐるしく変化し、同時に大学も内部変革を経て、そのレーゾンデートルの今日的理解に直面している中で、大学教授の「専門家としてふさわしい活動をしているか」に注目し、学識の成果の総合的評価として、パフォーマンス評価について検討する。

シンポジスト：山田雅夫氏（岡山大学）  
演者未定（首都大学東京）  
安岡高志氏（立命館大学）  
小笠原正明氏（筑波大学）

コーディネータ：田中義郎（桜美林大学・本大会企画委員）

## 7. 「自由研究」発表要領

会員の研究発表とそれに基づく討論は、学会活動の基本です。会員各位の積極的な参加を期待します。「自由研究」の発表要領は以下の通りです。

- (1)各発表とも発表 15 分+質疑応答 5 分、計 20 分です。
- (2)「発表テーマ」「発表内容要旨」を参考にして、いくつかの会場に分かれて行います。会場分けは、大会実行委員会にご一任願います。
- (3)会場ごとに、発表終了後、総合討論の時間を設けます。発表者は必ず総合討論にご参加下さい。
- (4)共同研究の成果を発表される場合は、会場での発表者は本学会員とします。但し「発表要旨集」には、共同研究者として非会員の氏名も記載することができます。
- (5)団体会員としての資格で発表する場合は、団体名での発表になります。該当する場合は、申し込みの際にご連絡下さい。

## 8. シンポジウムⅡ：「大学教員の養成・研修～Discipline との相剋・相生において」

趣旨：初・中等教育の教職課程における専門教育科目は、教える教科に関する「教科専門科目」と、各教科に共通した教育のための知識・能力に関する「教職専門科目」からなる。大学教員の養成・研修を考える場合においても、その寄って立つところの Discipline と、大学教員にとっての共通の素養、いわゆる「教職専門」の2つの要素を見出すことができる。ここでは、両者の関係を相剋・相生ととらえ、「教育者としての大学教員」の養成・研修について論議したい。

シンポジスト：大塚雄作氏(京都大学)  
小田隆治氏(山形大学)  
加藤かおり氏(新潟大学)

コーディネータ：奈良雅之(目白大学・本大会企画委員)

**第 31 回大会に関するお問い合わせは、下記にお願いします**  
〒192-0397 八王子市南大沢 1-1 首都大学東京 基礎教育センター  
大学教育学会第 31 回大会事務局  
串本 剛  
TEL 042(677)2219  
E-mail: lges2009@tmu.ac.jp

## 「自由研究」および「ラウンドテーブル」の申し込みについて

※「自由研究」と「ラウンドテーブル」の申込の締め切りは、**2009年2月27日（金）必着**です。

1. 「自由研究」の発表を希望される会員は、大会実行委員会宛に以下の内容を明記して申し込みを行って下さい。
  - (1)発表テーマ
  - (2)発表者氏名（共同研究の場合は前述の発表要領を参照）、会員番号、所属機関・部局
  - (3)発表内容概要（日本語 300 字程度、または英語 150 語程度）
  - (4)キーワード（5 個以内）
  - (5)PC 用プロジェクト使用希望の有無  
（注：PC はご持参ください。プロジェクトは windows XP 対応です。その他の機器を希望する場合は、別途、お問い合わせ下さい）
  - (6)発表者の連絡先（氏名／郵送先住所／電話／FAX／e-mail）
2. 「ラウンドテーブル」の企画を希望される会員は、大会実行委員会宛に以下の内容を明記して申し込みを行って下さい。ラウンドテーブルの発表者（企画者を除く）は申し込みの必要はありません。
  - (1)企画テーマ
  - (2)企画者（及び発表者）氏名、会員番号、所属機関・部局（企画者の方がお申し込みの際に、当該企画内での発表者についても記載してください）。
  - (3)企画内容概要（日本語 300 字程度、または英語 150 語程度）
  - (4)キーワード（5 個以内）
  - (5)PC 用プロジェクト使用希望の有無（上記「注」参照）
  - (6)企画者の連絡先（氏名／郵送先住所／電話／FAX／e-mail）
3. 申し込みは、「自由研究」発表・「ラウンドテーブル」企画ともに、以下のいずれかの方法で行って下さい。
  - (1)E-mail: lges2009@tmu.ac.jp  
（件名は「自由研究(代表者氏名)」もしくは「ラウンド(企画者氏名)」として下さい）
  - (2)郵送：別紙申込書に記入してお送り下さい。〒192-0397 八王子市南大沢 1-1 首都大学東京 基礎教育センター 大学教育学会第 31 回大会事務局 串本 剛 行
4. 「自由研究」発表の申し込みが受理されますと、大会実行委員会より「発表要旨」原稿の作成を依頼します。「発表要旨原稿作成要領」に従って **4月20日（月）必着**で原稿を大会実行委員会宛にご提出下さい。「ラウンドテーブル」の場合もこれに準じますが、詳細は企画者に個別にご連絡いたします。

### お願い（重要）

会費納入状況に基づく発表および企画の資格を確認するため、今回より会員番号の記載を義務付けております。学会名簿をご参照の上、ご記載願います。なお会員番号が不明な場合は、学会事務局までお問い合わせ下さい。

## ＝事務局から＝

### ● 会費納入のお願い

今年度(2008年度)の会費が未納の方および過年度の会費・会誌代が未納の方々は、2月27日(金)までにご入金ください。(領収証につきましては、ゆうちょ銀行払込票の受領証をもって替えさせていただきます。)

なお、入金状況について不明な方は、メールもしくはFAXにて4桁の会員番号を明記の上、お問い合わせください。追って、返答させていただきます。

**【振込先】 払込取扱票 → 00120-4-178891 「大学教育学会」**

**◆他の金融機関からの振込◆**

店名「019店(ゼロイチキュー店)」、預金種目「当座」、

口座番号「0178891」、受取人名「大学教育学会」

※ご入金はなるべくゆうちょ銀行払込取扱票をご利用ください。やむを得ず、銀行からご入金を希望される場合は、依頼人名の先頭に4ケタの会員番号をご記入くださるか、お手数でも事務局までその旨ご連絡ください。

### ● 大学教育学会第31回(2009年)大会参加のためのご案内について

大会への参加申込みのご案内および参加申込み用紙の送付につきましては、次号(4月発行予定)とさせていただきますので、ご承知おきください。

### ● 役員選挙について

2009年4月に学会の役員選挙が予定されています。

なお、選挙要領、被選挙人名簿、投票用紙などは次回のニュースレターに同封いたします。

### ● 2009年度課題研究集会について

2009年度課題研究集会は、11月28日(土)～29日(日)大阪市立大学杉本キャンパス(所在地:大阪市住吉区杉本3-3-138)にて開催予定です。

### ● 学会事務局の移転について

2009年6月8日(月)より、事務局が桜美林大学町田キャンパス内(東京都)に移ることとなりました。ご承知おきくださいますようお願いいたします。

## 訃報 讃岐先生ご逝去

大学教育学会元会長 讃岐和家先生が去る2008年12月29日(月)にご逝去されました。讃岐先生の本学会に対するご貢献と大学教育界でのお働きに対し、心からの感謝と哀悼の意をもって会員の皆様にお知らせ申し上げます。

なお、讃岐先生の追悼文を学会誌第31巻第1号に掲載させていただく予定です。